

## 会議ダイジェスト

## 理 事 会

## ・第 5 回理事会

開催日：7 月 26 日

出席者：森田会長，ほか 32 名。

## 1. 第 1 回評議員会開催報告

本年度第 1 回評議員会開催(7 月 20 日・書面審議)報告があり，理事交替が行われた。

辞任理事：木村達也，三好俊吉，横田孝三，新任理事：小野定雄，神崎昌久，阪本英一

2. 平成 3 年度 俵，澤村各論文賞，浅田，三島，林，山岡各賞受賞者決定

3. 協会事業特別検討委員会よりの答申

1) 平成 4 年度は会費値上げは見送る。

2) 講演大会参加費徴収は行わない。ただし「材料とプロセス」の値上げを行う。

3) 「鉄と鋼」の分冊発行は当分行わない。

4) 「ISIJ International」の Supplement の発行は当分行わない。

5) 理事会の下に MP 検討委員会を設置。

4. 「材料とプロセス」価格改訂

平成 4 年度より「材料とプロセス」の価格改訂を了承した。

平成 4 年度より「材料とプロセス」の価格改訂を了承した。

| 号       | 会員価格   |         | 分譲価格   |            |
|---------|--------|---------|--------|------------|
|         | 子 約    | 予約外     | 子 約    | 予約外        |
| No. 1~6 | 11,000 |         | 60,000 |            |
| 1 & 4   | 4,400  |         |        | 12,000/冊   |
| 2 & 5   | 4,400  | 4,400/冊 |        | 72,000/セット |
| 3 & 6   | 4,400  |         |        |            |

学生会員 2,200/冊(従来どおり)

## 編集委員会

## ・第 5 回欧文会誌分科会

開催日：7 月 26 日

出席者：菊池主査，ほか 11 名。

1. 30 件の原稿につき審査報告がなされ，掲載可 1 件，照会后掲載可 5 件，修正依頼 21 件，返却 3 件であった。

2. ISIJ International, vol. 31 (1991) No. 10 金属間化合物特集号に，Regular article 17 件，Review 12 件の掲載を決定した。

3. 9 月以降の欧文会誌分科会は，主査・幹事・各分野幹事 10 名で構成され，専門委員から成る WG が設けられる。分科会は原則として毎月 1 回開催され，専

門委員も含めた全体会議は必要に応じ開催される。

4. 8 月末日付けで 7 名の委員が解嘱，9 月 1 日付けで 4 名の分科会委員，14 名の専門委員が委嘱される旨報告された。

5. 平成 3 年度澤村論文賞選考結果が報告された。

## 企画委員会

## ・第 7 回学生会見学会第 1 回実行分科会

開催日：7 月 23 日

出席者：岡田主査，ほか 16 名。

1. 委員構成確認

2. 前回議事録確認

3. 前回見学会実施報告および今後の見学会実施提案報告

4. 第 7 回学生会見学会実行計画審議

1) 実行計画(草案)討議

2) ポスター原案審議

3) パンフレット等記載事項の見直し

4) 交通費各社負担分の協会への納入方法

5) 実行分科会スケジュール

## 研究委員会

## ・第 2 回科研費研究分科会

開催日：8 月 20 日

出席者：山口主査，ほか 5 名。

1. 文部省科研費審査委員候補者の選出を行った。

2. 第 15 期日本学術会議第 5 部世話担当の各委員会の委員候補者として次の 3 氏を選出した。

## ①金属工学研究連絡委員会

東京大学工学部材料学科教授

佐久間健人

## ②溶接研究連絡委員会

新日本製鉄(株)鉄鋼研究所長

伊藤亀太郎

## ③材料工学研究連絡委員会 強度と破壊専門委員会

東京大学先端科学技術研究センター教授

岸 輝雄

## 共同研究会

## ・第 12 回亜鉛めっき鋼板部会

開催日：7 月 25，26 日

場所：NKK/福山

出席者：鍋丁部会長，ほか 134 名。

1. 操業状況(H. 2.10~3.3)

2. 共通議題「要員と省力化」

3. 自由議題発表 11 件

4. 工場見学：メッキ工場(1, 2 CGL)

## ・運輸部会 第 7 回物流技術調査小委員会

開催日：7 月 18，19 日

開催地：日新/呉

出席者：安田委員長，ほか 24 名。

(1) 各担当会社による調査フォーマット最終案と全体討議

(2) 今後の調査活動の進め方について

(3) 将来物流技術ワーキンググループ活動内容検討

(4) 工場見学

## 基礎研究会

## ・第 7 回組織制御と性質研究部会

開催日：7 月 23 日

出席者：小指部会長，ほか 14 名。

1. 特別講演「混合組織と材料特性」

(茨城大・友田助教授)

2. データ集の検討(組織と機械的性質，疲労強度)

## ・第 1 回ミクロ組織センサー研究部会

開催日：7 月 29 日

出席者：岸部会長，ほか 16 名。

1. 研究計画

2. 特別研究

(1) 「材質予測に関する最近の動向」

(静岡理工科大・矢田)

(2) 「材質予測に関する最近の動向」

(川鉄・市川)

## ・第 3 回圧延ロール研究部会

開催日：7 月 30 日

出席者：木原部会長，ほか 48 名。

1. ロールアンケートのまとめ

2. 討論会の報告

3. 話題提供

4. 特別講演

(1) 鉄鋼の冷間圧延用ロールの諸問題

(金沢工大・川並)

(2) 高クロム鉄鋼の熱処理特別

(九大・大城)

## ・第 1 回国際鉄鋼技術委員会

開催日：7 月 23 日

出席者：富浦委員長，ほか 8 名。

1. 委員長交代御挨拶

2. 第 23 回 IISI 技術委員会の定例会議(TECHCO-23, '91 年 5 月，ストックホ

ルム)の出席報告

3. 次々回の IISI 総会(於東京)のパネルディスカッションテーマに関する討議
4. 調査委員会(スペシャルスタディ)での新規テーマに関する討議
5. 技術交流セッションでのテーマについて討議
6. IISI 歩留 WG ミーティングの概要報告

#### ・第 8 回旧陸海軍鉄鋼技術調査委員会

開催日: 8 月 20 日

出席者: 堀川委員長, ほか 8 名.

1. 議事録の確認

2. 報告書のとりまとめについて
3. 報告書送付先及び購入者名簿
4. 今後の推進についての御意見
5. その他, 歴史年表, 報告書標題について等

#### 日本圧力容器研究会議

#### ・第 66 回 JPVRC 圧力容器用鋼材専門委員会

開催日: 7 月 22 日

出席者: 平委員長, ほか 9 名.

1. 前回議事録確認

2. JPVRC 運営委員会報告

3. 新規テーマに関する詳細提案と討議

#### ・第 51 回 JPVRC 非破壊試験専門委員会

開催日: 7 月 23 日

出席者: 川本委員長, ほか 8 名.

1. 前回議事録確認
2. JPVRC 運営委員会報告
3. 「極厚鋼板溶接部欠陥の超音波探傷精度に及ぼす集束超音波ビームの効果」中間報告書について
4. ASME Appendix VII について

☆☆☆☆☆☆☆☆

### //////////////////////////////// 原稿募集 ////////////////////////////////// 「鉄と鋼」特集号 //////////////////////////////////

## 製鉄プロセスにおける現象とモデル化

原稿締切日 平成 3 年 11 月 8 日(金) 締切日厳守  
締切日以降の投稿原稿は受け付けませんのでご注意下さい

平成 4 年 7 月号(第 78 年第 7 号)に上記特集号を企画しております。ここ数年, 国内の好景気に支えられ, 我が国の粗鋼生産量も 1 億 t を超える高生産が続いております。しかし, 一方では, 劣質資源の活用, 省エネルギーも含めた CO<sub>2</sub> 削減技術等, 将来型プロセスの開発に期待がよせられています。

最近の製鉄プロセスにおける研究状況を概観しますと, 原料分野においては, 焼結機操業の歩留り向上, 低品質原料の使用可能な焼結法や新塊成化法の開発, コークスの分野では, 乾留反応の制御法, 一般炭の使用技術, 高炉においては, 新装入物分布制御法, 微粉炭多量吹込み, AI や数学的モデルによる操業管理などに長足の進歩がみられます。また, 基礎的研究としては, シンターケーキ構造の研究, 高炉下部の移動現象論的研究, 新プロセスに関連して, 熔融還元法や酸素高炉法, 成型炭製造技術など大型のプロセス開発の研究も実施されています。

本特集号においては原料, コークス, 高炉製鉄法, ならびに, 開発が進められている将来の製鉄技術に関連して基礎科学的, および, 応用技術的研究を幅広く募集いたします。論文等多数の御投稿をお待ちしております。

1. 原稿締切日 平成 3 年 11 月 8 日(金)
2. 発行 「鉄と鋼」 Vol. 78 No. 7 (平成 4 年 7 月号)
3. 原稿枚数 論文刷り上がり 8 ページ以内(表, 図, 写真を含めて本会原稿用紙 40 枚以内)  
(注)・原稿は本会投稿規程に基づいて執筆して下さい。  
・投稿された論文は和文会誌分科会において審査されます。
4. 問合せ・原稿送付先  
〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階  
(社)日本鉄鋼協会 編集・業務室 和文誌特集号係(担当・坂井) 電話 03-3279-6021(代)  
(注) 投稿時, 原稿表紙に「製鉄特集号」と朱書して下さい。